

アーカイブ Data Report

NO. 120

(2021年6月2日)

〒500-8813 岐阜県岐阜市明徳町10番地 杉山ビル5F

E-mail: shikaku@npo-nak.com URL: https://npo-nak.com

NPO 日本アーカイブ協会・岐阜女子大学*・沖縄女子短期大学・学習システム研究会

(* 岐阜女子大学デジタルアーカイブ専攻・研究所、沖縄サテライト校)

教育リソース・ハイブリッド型教育の基礎となる

これまでの教育実践活動について

～教育情報システムの利活用の展開～

後藤忠彦 (岐阜女子大学)

1. コンピューターの教育利用の始まり

コンピューターの教育利用は、1950年代後半から始まり、1960年～1990年には、現在の教育リソース、学習状況データの管理、これらを用いた学びでの活用が始まっている。

ただ、初期は英文字・カナ文字しか使えなく、情報として限られていた。その後、1980年代になり、現状の日本語処理(漢字)が可能になり、その後、1990年には、映像・音声等の記録保管も可能になってきた(1995年頃、月尾氏によるデジタルアーカイブの提言あり)。

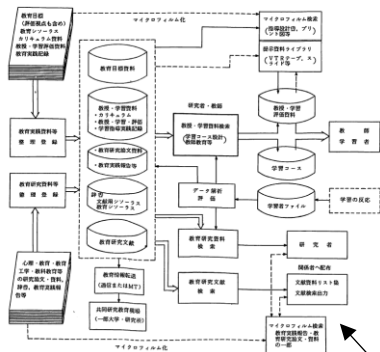
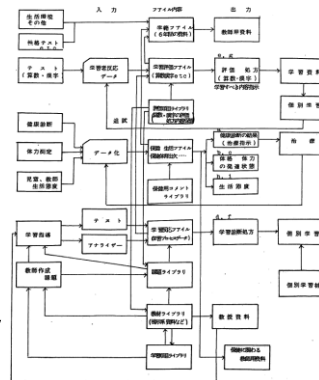


図3 岐阜大学教育情報データベースの構築(1983年)

岐阜大学教育情報データベース、岐阜大学教育学部付属カリキュラム開発研究センター、1984.8、p4

左図は、教育資料(資源)のデータ保管・流通システムであり、各方面で利用された。また、右図は小学校の学修状態・反応、保健・体育などの総合的な管理システムである。これらがハイブリッド型の教育の基礎になっている。



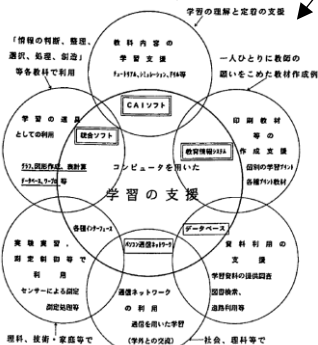
後藤他、小学校用CMIシステム、電子通信学会、1978.6、p67

教育リソースの管理 (Item Bank(Library))

学習状況のデータ管理 (CMI)

ICTの学びでの活用 (CAI)

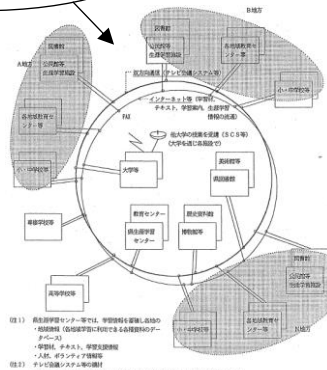
(DA デジタルアーカイブ) 学習の道具としての利活用へ



後藤、学習とコンピュータ、日本教育新聞社、1992

CMI : Computer Managed Instruction

CAI : Computer Assisted Instruction e-learning、テレビ会議システム等(オンデマンド、同時双方向通信)



教育での通信情報のネットワークの構成 (現状では、これにe-learning、教育リソース等のオンデマンド、データベースが整備されるようになってきた。)

教育情報論(講義資料)1998より、後藤

2. 遠隔教育の発展

1990年代は、衛星通信放送、テレビ会議システム、インターネット等が教育で利用されだした。例えば、大学院の授業の資料の図に示すような計画が立てられだした時代である。しかし、当時は通信速度、記憶容量が少なく、e-learning等の本格的利用がされていなかった。

岐阜女子大学では、2000年に木田宏遠隔教育振興会長の支援で、全国の関係大学者と共同し、教員専修免許状の講座を衛星放送、テレビ会議システム、テキスト(資料、文献資料等の印刷物)などを用いて遠隔教育を展開した。

そこでの講義は、全国の関係研究者が岐阜女子大学での講義を全国にCS放送を使い発信し開講した。

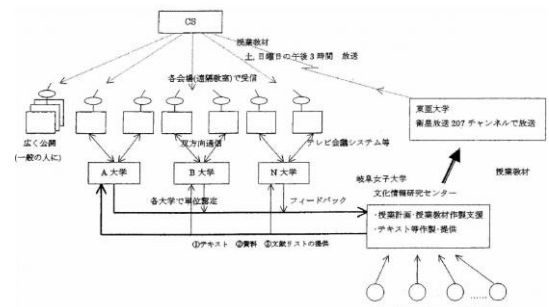


図1 衛星放送、テレビ会議システムを用いた遠隔教育

日本教育情報学会誌「教育情報研究」第16巻第2号、2000、p31-38より

3. 対面、テレビ会議システム、e-learningでの学習…岐阜女子大学・沖縄(サテライト校等)

岐阜女子大学では、沖縄の教育カレッジ、その後沖縄女子短期大学(岐阜女子大学沖縄サテライト校)と連携し、2009年頃から大学・大学院の対面、テレビ会議システム、e-learningを用いた図に示すような遠隔教育を始め、学習者が学びの方法を選択している。

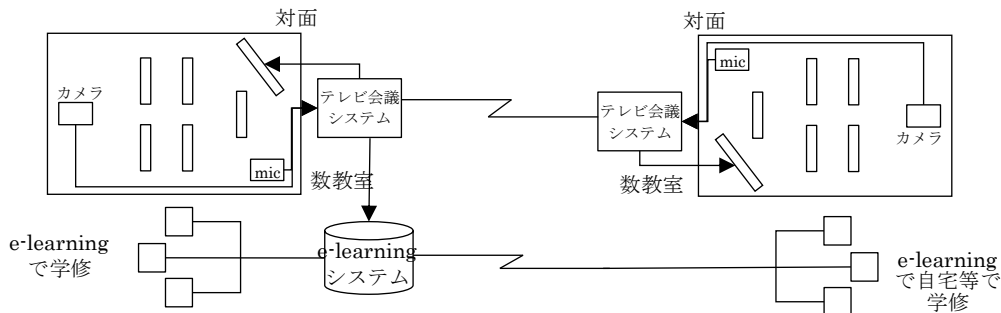


図 対面、テレビ会議システム、e-learningで学修

4. 対面、テレビ会議システム、e-learningと教育リソースを用いたハイブリッド型教育へ

沖縄サテライト校(その後の2020年の新型コロナウイルス感染症の流行による遠隔授業)で最も基本的な教育課題として、学習情報環境の充実が必要である。このため、岐阜女子大学では、2016年頃から学習環境の整備として学修・研究支援デジタルアーカイブ(教育リソース)の開発を進めてきた。

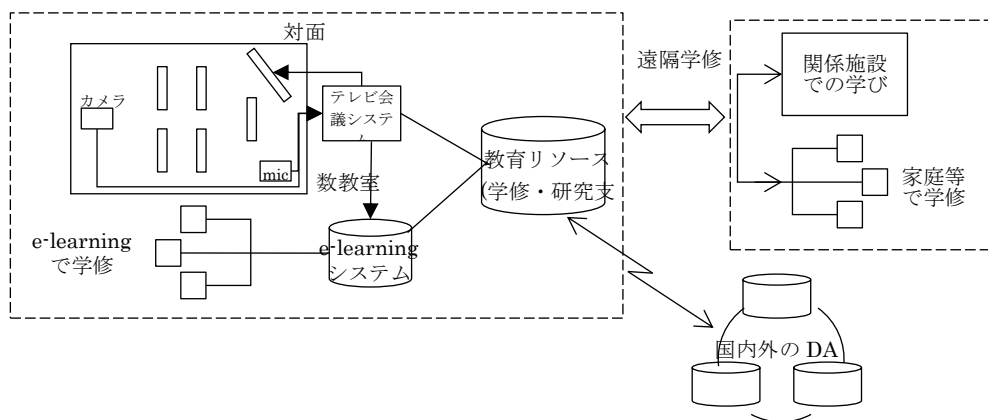


図 対面、テレビ会議システム、e-learningと教育リソースを用いた教育

展開の課題として、大学の教育目的・活用の明確化に対応した内容の整備・充実およびこれらを用いた学生等の学びのスキルの指導が必要である。(今後、学生は小学生から情報端末を活用した学びが習慣化され、問題は大学の教員のそれに対応した指導力の充実である。)